

# ゆりはま議会

第45号

平成27年2月1日 発行  
発行：鳥取県湯梨浜町議会

## 12月定例会

温泉熱発電導入へ

常任委員会審議 放課後児童クラブ増設へ

一般質問 地方創生ワーキンググループを立ち上げ

住民と議会の意見交換会を開催

ウォーキングで地域ブランディング

2

6

8

14

16

『みんな、なかよし』  
(花もちづくり 松崎幼稚園)



# 中国地方初の

# 温泉熱発電導入へ

## 平成26年第8回12月定例会

平成26年12月定例会が、12月12日から22日までの11日間の会期で開催されました。

今定例会に提案された平成26年度各会計補正予算、条例制定・改正などの議案を慎重に審議し、提案された27議案すべて、原案のとおり可決しました。

### 総選挙で専決

#### ☆一般会計

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行する費用として、歳入歳出それぞれ967万円を追加し、補正後の予算の総額を101億2千570万円とする。

### 補正予算

#### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ7千221万円を減額し、補正後の予算の総額を100億5千349万円とする。

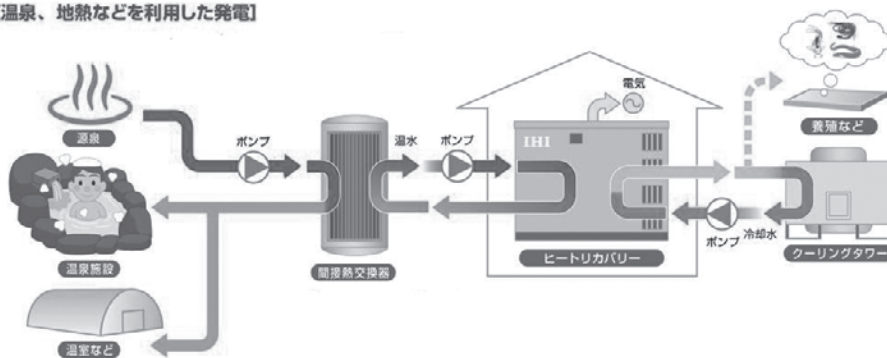
### 新たな再生エネルギー確保へ

・温泉熱発電導入支援事業

1千500万円

町内で東郷温泉の温泉熱を利用した発電施設を導入する事業者に対する補助に要する経費。

【温泉、地熱などを利用した発電】



温泉熱発電の仕組み

### 県 水質調査不足

・陸上養殖起業支援事業  
△2千250万円

泊漁港内の井戸海水を利用した陸上養殖を、予定していた2業者のうち、1業者が実施しなかったため、支援を予定していた経費を減額。

### 給食センター集約化へ

・新中学校・学校給食センター建設事業  
213万円

当初予定していた新中学校建設の基本設計に、実施設計をあわせて業務発注するため増額。

## 寄付金大幅増

・ふるさと湯梨浜応援  
基金事業

1千594万円

10月末で寄附総額が  
2千万円に到達する状況  
であり、基金を増額する。

## 施設への入所者増

・老人保護措置委託料  
304万円

養護老人ホームへの途  
中入所者があつたため、  
委託料を増額。

## 高額医療費が増加

☆国民健康保険事業特  
別会計

高度で高額な医療給付  
の増加に伴い、保険給  
付費の増額などによる  
1億1千732万円の増  
額補正。



故障で止まった風車

・新エネルギー施設管  
理臨時経費

662万円

「潮風の丘とまり」に  
ある風力発電設備の故障  
復旧工事に要する経費。

## 条例改正

基金がゼロに近くな  
り、県の貸付金限度額を  
超える分を、一般会計か  
ら2千345万円繰り入  
れを行う。

## 人事院勧告によ る給与改正

☆湯梨浜町職員の給与  
に関する条例の一部  
を改正する条例

人事院勧告を踏まえ、  
職員の平成26年度の給料  
表の改正、通勤手当の引  
き上げ及び勤勉手当の支  
給月数を0・15月引き  
上げる。  
また、平成27年度から  
は平均2%引き下げた給  
料表に改正する。  
さらに、災害対策の措  
置として、平日深夜に及  
ぶ管理職員の長時間勤務  
に対し、特別勤務手当を  
拡充する改正を付するもの。

☆湯梨浜町議会の議員  
の議員報酬及び旅費  
に関する条例の一部  
を改正する条例

☆湯梨浜町特別職の職  
員で常勤のものの給  
与及び旅費に関する  
条例の一部を改正す  
る条例

人事院勧告により、湯  
梨浜町職員給与を改正す  
ることを勘案し、議員と  
特別職の期末手当の支給  
月数を年間2・95月か  
ら0・15月引きあげる  
もの。

## 放課後児童クラ ブを充実

☆湯梨浜町放課後児童  
健全育成事業の設備  
及び運営に関する基  
準を定める条例

平成27年4月から始ま  
る子ども・子育て支援制  
度の実施にあたり、設備  
の基準、職員、開所時間  
及び日数などについて定  
めるもの。

## 地元管理へ

☆湯梨浜町老人憩の家  
の設置及び管理に関  
する条例を廃止する  
条例

☆財産の無償譲渡

平成27年1月1日から  
「町立老人憩の家」を地  
元の田畑2区に無償譲渡  
するもの。



老人憩の家

## 助成区分の変更

☆特別医療費助成条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令が改正され、負担能力に応じた負担を求めるため所得区分及び自己負担限度額等が細かく設定された。それに伴い、条例を改正するもの。

## 4施設の指定管理者を決定

各施設とも、指定の間は平成27年4月1日から5年間。

湯梨浜町多目的温泉保養施設

龍鳳閣の指定管理を、一般財団法人ゆりはま温泉公社に指定。

湯梨浜町立温泉ふれあい会館

ハワイゆくたうんの指定管理を、一般財団法人ゆりはま温泉公社に指定。

はわい温泉・東郷温泉観光案内所  
指定管理を、はわい温泉・東郷温泉旅館組合に指定。

とまりグラウンドゴルフのふる里公園  
指定管理を、株式会社チュウブに指定。



はわい温泉・東郷温泉観光案内所

## 危機管理対応へ

☆湯梨浜町新型コロナウイルスエンザ等対策行動計画の作成

新型インフルエンザの発生時、ワクチンの住民接種をする際の接種順位の考え方などを記載。

## 負担の公平化へ

☆鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議

各市町の広域連合への滞納整理事務委託件数が異なるため、負担金の割合などを変更するもの。



建設が進む「とうごうこども園」

## とうごうこども園完成間近

☆工事請負契約の変更

東郷地域新保育施設建設の本体工事と機械設備工事において、地中の構造物撤去などの必要が生じたため、契約金額を合計約42万円増額する。

## 立体交差へ

☆町道の路線廃止

交通安全対策として、山陰道入口を高架にするため、はわい長瀬地内にある町道高浜跨道橋線のある町道認定路線を廃止する。

# 本会議での採決結果

| 議案の内容<br>(○：賛成　×：反対)                        | 増井 | 寺地 | 河田 | 浜中 | 入江 | 松岡 | 酒井 | 上野 | 浦木 | 会見 | 米田 | 光井          |
|---------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|
| 湯梨浜町議会の議員の議員報酬及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について      | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議長は採決に加わらない |
| 湯梨浜町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |             |
| 平成26年度湯梨浜町一般会計補正予算(第6号)                     | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |             |
| 子ども・子育て支援新制度の実施に関する陳情書                      | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  |             |
| ※上記以外の24議案（全27議案。陳情書は除く）は全会一致で可決及び承認しました。   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |             |



12月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

| 件名                             | 請願者・陳情者                                                          | 審査結果 |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|
| 「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書提出の請願 | 治安維持法犠牲者<br>国家賠償要求同盟鳥取県本部<br>代表 保田睦美                             | 継続審査 |
| 湯梨浜町商工会羽合支所及び長瀬地区公民館の無償譲渡について  | 湯梨浜町商工会<br>会長 中島 守<br>長瀬十区区長会<br>代表区長 信原和裕<br>長瀬地区公民館<br>館長 井坂正昭 | 継続審査 |
| 子ども・子育て支援新制度の実施に関する陳情書         | 鳥取の保育を考える会<br>会長 石井由加利                                           | 不採択  |



## ◆ 常任委員会 審議内容 ◆

### 総務産業常任委員会

12月17日ほか3回

## 親子で楽しめる公園へ

### ◇ スーパースライダーの改修

平成25年8月から走路の破損により休止しているスーパースライダーの改修について協議。今回改修し、平成35年度までは運行し、その時期に移行の方針を検討すると説明を受けた。



再開が待たれるスーパースライダー

Q. 今回補修して、その後も部品や走路の維持管理や修繕に約1千万円が見込まれている。それで10年間様子をみるのは長すぎるのではないか。

A. 修繕が見込まれる年ごとに議論していくべきだと考えている。

Q. スーパースライダーは中国地方では本町にしかないということなので、宣伝を工夫してほしい。

A. 今後、親子で楽しめる施設にしたい。

## 温泉熱の二次利用も

### ◇ 温泉熱発電

温泉熱を利用した発電事業の事業者を、今後公募予定。

Q. 町にとつてのメリットは。

A. 発電後の二次利用として農業用ハウスや、水明荘での熱交換によるボイラー費用削減を考えている。

## 渋滞緩和へ

### ◇ 国道179号線

車線を増やすのは難しいため、バイパスをつくる方向性であると県から説明を受けた。

Q. ルートの想定はあるのか。

A. これから計画する。高速道路ではなく、一般のバイパスになる。町の意向を聞きながら、計画していく。

## 松崎駅無人化へ

### ◇ JR松崎駅

松崎駅乗車券簡易委託発売について、平成27年度以降は行わない。定期的な駅舎、トイレの清掃管理を今後も町が行い、乗車券は発売機と車内販売で対応する。

Q. なぜJRの駅舎を町で管理しなければならぬのか。

A. シルバー人材センターに駅舎とトイレの清掃業務を委託している。トイレを町で管理しない場合、取り壊すとJRは言っている。

## 健康づくり施設を目指せ

### ◇ 龍鳳閣

龍鳳閣について、もっと施設のテーマをしかりさせて、総合的な健康施設としてのあり方を進めるべきではないかとの声が委員から出された。

Q. 町民に喜んでもらえる施設になってほしい。介護保険料などが抑えられるればいいという思いもある。施設をうまく使って、町に潤いを与えなければならぬ。



無人化になる「松崎駅」

A. 理事会でも、そのような認識は持っている。健康を前面に出すという話をしている。お金がかかることなので、時間をいただきたい。

Q. 町の中での龍鳳閣の位置づけは。

A. 介護保険事業計画の委員会の中でも、介護が必要な人を増やさない手法をどうするかということがある。その中に龍鳳閣を位置づけたい。

## 埋蔵文化財は？

### ◇新中学校建設

新中学校の敷地内に給食センター建設も予定。12月には小中学校の全保護者と教職員を対象にしたアンケートをとりまとめた。

### Q. 完成の前倒しは。

A. 基本設計に引き続き、実施設計ができるようにしたい。

### Q. 敷地内の埋蔵物調査は。

A. むやみに調査をするのではなく、校舎などの基本配置を考えてから行う。集中的に遺跡が出土する可能性は低いと思う。



統合により廃止される東郷給食センター

## どうする国保

### ◇国民健康保険事業

#### 特別会計

Q. 今のままでは、会計がもたないのではないかと。「がん」の療養が一番多いのか。

A. 高額療養費の4割が「がん」。本町では、検診でわからない「がん」も多い。

Q. 検診を受けた人に特典をつけられないか。

## どうなる要支援

### ◇介護保険

Q. 要支援1、2の人は地域支援事業に移行することになる。ボランティアや、地区の公民館任せにしようとする所もあると聞く。

A. 国は、週に1回は介護予防の集まりをしてほしいと求めている。ボランティアは慎重に考えながら、町の支援事業や事業所の実施事業、また委託していくことも考えている。

### Q. 介護保険料の将来的な展望は。

A. 施設には入っていないが、在宅で介護度4、5の人もいる。場合によっては、施設に入っている場合と同じ程度の費用が発生する。重度の人が増えると、介護保険の給付費用も増える。

## 羽合地区を増設

### ◇放課後児童クラブ

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を市町村が条例で定めることになった。

Q. 条例案では、開所時間が現状より短くなっているが。

A. 新規参入してくる事業者に示す開所時間。町が運営する放課後児童クラブの開所時間は変わらない。

Q. 児童の集団の規模が示されたが、羽合を3つに分けて運営するのか。

A. 羽合は第1、第2クラブがあるが、来年度から3つに分けたい。



放課後児童クラブ

# 一般 質問

# 町政を問う!

## —質問事項—

|                       | ページ               |                     | ページ |
|-----------------------|-------------------|---------------------|-----|
| 寺地 章行 地方創生関連法への対応は    | 8                 | 米田 強美 ①地域おこし協力隊の活用を | 13  |
| 上野 昭二 ①財政縮小に向けた経営方針は  | 9                 | ②東郷池の治水対策は          | 13  |
|                       | ②いまずぐ医療費の抑制対策を    |                     |     |
| 松岡 昭博 ①湯梨浜町農業の活性化を    | 10                |                     |     |
|                       | ②歴史が活きる町づくりを      |                     |     |
| 入江 誠 ①地方創生実現に向けた取り組みは | 11                |                     |     |
|                       | ②再生可能エネルギーの現状と今後は |                     |     |
| 増井 久美 ①米づくりを守る対策を     | 12                |                     |     |
|                       | ②移住定住への情報発信を      |                     |     |

平成26年12月定例会の一般質問は、第4日目の12月15日（月）に行われた。質問議員6名が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。

この度成立した、まち・ひと・しごと創生法、関連法は今後の日本の姿、あり方を考える上でも、また我々地方の将来を予測し、見直す上でも重要な法制定である。

地方自治体も地方版創生総合戦略を策定する努力義務が課されている。県ではいち早く取り組み、本町も積極的に取り組んでいく必要がある。

この度の法制定に対する町長の考え方、取り組まれるプロセス、描かれている政策は。



寺地 章行

Q 地方創生関連法への対応は

A 積極的に推進

答弁（町長）

この法の目的は、町にとっても当然共有すべき課題であり、積極的に推進していかねばならない。国、県の総合戦略計画が策定された後、内容を勘案しながら平成27年6月末を目標に素案を作成

し、事業着手を図りたい。個別事項として、農産物の更なるブランド化や中学校統合後の公有空地を利用した企業誘致などがある。

職員、町民の英知を結集して取り組む。さらに、国の職員派遣制度に手を挙げ、地域創生施策の推進に役立たせたい。



気持ちも新たに（役場仕事初め式）



Q 財政縮小に向けた  
経営方針は

A 一層の健全化に取り組み



上野 昭二

答弁（町長）

合併後「交付税の合計を10年間保証する」期限が切れる。合併算定替分の試算は、平成26年度34億円、平成32年度24億円となり、約9億6千万円の減額となり、資金不足が予想される。

行政改革プランに基づき、組織のあり方、保険

料、使用料などは議論の上、方針を決め取り組む。また収入を増やすことも考えていく。

いよいよ来年度より、平成32年度まで5年かけ、一本算定による、段階的な財政規模の縮小化がスタートする。

執行部においては、すでに来年度予算の策定に着手し、ほぼ煮詰まっているとは思っている。そこには、当然、町長の財政縮小方針が示され、予算編成されていると思う。

この先の地方交付税の減額に向けて、何を残し、何を削減して行くのか、中長期の政策方針や、柱とする方針・方向性を問う。



多くの施設維持に膨らむ改修費（羽合野球場）

Q いますぐ医療費の抑制対策を

A 生活習慣病予防を推進



腎臓病予防教室（中央公民館）

答弁（町長）

国民健康保険の医療費の現状は、被保険者数は減少するも一人当りの医療費は伸びている。

医療技術の進歩や高齢化など保険者の力の及ばない要因もある。特徴として「がん」による医療費が多い現実がある。

早期がんが見つかるよう受診率向上対策、健康教室、がん予防講演会、生活習慣病予防教室などを行っている。

身体活動と食生活の改善など、生活習慣病予防を身につけることを一番に推進する。

当町の国保医療費の伸び率は、歯止めがかからず、年々増加の一途をたどっており、保険料の増額が、避けられない状態が続く。

特に、「がん」などの高額医療が、大きく足を引っ張り、運営を大きく圧迫している。

これまでの様々な対策は、ほとんど成果が上がっていないが、要因を

的確に掴んでいるのか。成果を上げるためにPDCAサイクル（計画、実行、点検・評価、改善・処置の過程を踏んで業務を行うこと）は、毎年どう回しているか。また、今後の医療費の伸びを抑制する、新たな対策があるのか問う。

## Q 湯梨浜町農業の活性化を

### A 「儲かる農業」を目指す



松岡 昭博

#### 答弁（町長）

①認定農業者と集落営農組織は、基準年の1割程度の増加を見込んで設定。耕作放棄地は、1割以内に抑制する目標を設定。

しかし、認定農業者は44人から7人の減。集落営農組織は5組織から2組織増えて、目標達成。

農業で急がれることは、規模拡大、生産コストの低減、付加価値を付けることにより、儲かる農業にすることである。次の点について町長の所見を問う。

①町総合計画に示した達成目標の認定農業者、集落営農組織の数は、何を根拠に決めたのか。

②本町で農業にやりがいがある事業を創設し、生産者を元気づけるとともに、移住者を含め、後継者育成に繋がるような仕組みを作っているのか。



大型コンバインによる米の収穫（門田）

耕作放棄地は目標を大きく下回る。

②「魅力ある農業」「儲かる農業」を目指す。

例えば、新規就農者確保を図るため、どんな支援制度が必要か、移住・定住促進とタイアップした施策を勉強してみたい。



歴史ロマン漂う伯耆一の宮（倭文神社）

## Q 歴史が活きる町づくりを

### A ガイドブックを作成

本町には古代からの歴史・史跡が多くある。また、歴史に興味がある人は多くいるし、近年「歴史」がブームになっており、経済効果が期待できる。次の点について、町長に問う。

②「東郷荘下地中分絵図」の風景や営みが残る東郷池周辺を、文化庁の「文化的景観」に申請しているのか。

①歴史・史跡を幅広く紹介するホームページやパンフレットを作成したり、観光看板の設置、史跡周辺の整備をしてはど

#### 答弁（町長）

①ガイドブック・案内看板は今年度で予算措置しており、年明けには成果が出てくる。

「馬の山」は眺望をよくするため、竹藪をすでに切り、案内看板の設置準備を進めている。

#### 答弁（教育長）

②申請すれば認定の可能性はある。取り組みにより、住民が価値を正しく評価し、地域で守る機運が高まる。

課題は、選定後に現状変更などに対して、土地所有者の裁量に制限が生じる。関係各課の意見を聞きながら検討したい。



Q 地方創生実現に向けた  
取り組みは

A 早期の事業着手を図る



入江 誠

答弁（町長）

「まち・ひと・しごと創生法」では、来年度から5年間で取り組む人口減少対策などを盛り込んだ総合戦略をつくると規定し、地方自治体にも総合戦略作成の義務を課している。

本町では11月にワーキンググループを立ち上

げ、施策内容の検討を始めた。6月ごろまでに取りまとめ、早期の事業着手を図りたい。

現在、「固定資産台帳」の整備中で「公共施設等総合管理計画」の策定を予定している。作業の中で、施設の統合など戦略的な有効活用策も議論していきたい。

地方創生大臣に着任された石破大臣は、「地方が我が町をどうするか考えなければならぬ。それができれば創生する。それができないところは、いつまでたっても創生されない。」と述べ、地方自治体が自ら頑張らなければならないという政府の方針を示している。

本町の提言スケジュールなど地方創生実現に向けた取り組み方を問う。

また、現存する公共施設をいかに有効的に活用するかが鍵となるが考え方を問う。



地方創生を議論（役場幹部会議）

Q 再生可能エネルギーの  
現状と今後は

A 温泉熱発電いよいよ実現へ



期待される再生可能エネルギー（太陽光発電）

答弁（町長）

本町は、県下で最初に風力発電を設置した町でもあり、再生可能エネルギーの積極的な推進を図ってきた。

現在、事業として、稼働している太陽光発電施設は5か所、住宅用は123件、町施設に6か所、太陽光と風力で約3千世帯分を超える発電がなされている。

また、温泉熱を利用した発電も実現に向け動き始めた。

今後も、家庭用太陽光発電への補助を継続するなど促進に努める。町の世帯6千世帯分の電力を供給できるようになればと考えている。

平成24年7月1日から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が開始されている。

この制度は、電気事業者に、再生可能エネルギーで発電された電気を国が定める価格・期間で買い取ることを義務付けるもの。

電気事業者が買い取りに要する費用は、電気料金の「再生可能エネルギー発電促進賦課金」として利用者に、使用量に応じて負担を強いるのが現状である。

本町における再生可能エネルギーの現状と今後の取り組みを問う。



## Q 米づくりを守る対策を

### A 国に支援策を要請したい



増井 久美

くべきではないか。

#### 答弁（町長）

米の価格下落対策について、実態・対策等につき聞き取りし、検討した。米を守る緊急対策については、ナラシ移行対策が適用になるが、認定農業者、集落営農組織が対象であり、適用範囲が限定的。面的要件を満たさ

ない方の支援策などを要請したい。また公庫の無利子貸付制度、県・J・A・町で利子補給など検討している。

米耕作請負停止の件では、現在耕作者を探している所であるが、町外の大規模農家より相談を受けている。また農地中間管理事業の活用を視野に対応を図っている。

※ナラシ対策：担い手の収入減少を緩和するため、収入を補てんするもの。

日本共産党湯梨浜町委員会として、町長に米の価格下落対策を要請したが、どう対処したのか。

米の概算金が大きく下落し、農家の方から悲鳴に近い声が上がっている。また大規模農家が米づくりをやめるといふことで、返された田の米づくりを請け負う人を探するなど、大変な状況となっている。

町として「町の米づくり」を守るためにどう対処するのか。町独自の施策はないのか。

国にも対応を求めている。



大型トラクターによる作業（長和田）

## Q 移住定住への情報発信を

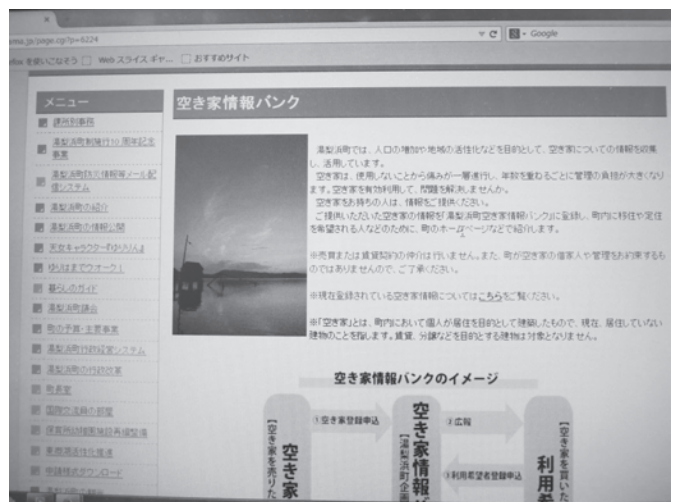
### A 予算をつけ、一層力を入れる

「都会から妻子をつれて帰って来たいが、保育所に入れるだろうか。」という声があった。

「ターン、Uターン、Jターンをのぞむ人や家族にとつて、仕事、家、保育所、小中学校などの情報は大切である。」

本町の取り組みはどうなっているか。

町全体をみれば、人口増加の地区と減少地区がある。減少地域に移住定住を進める施策も必要である。情報をきちんと発信し、熱意ある対応を示すべきだが、そうなる



移住定住へ情報発信（役場ホームページ）

いるのか。

#### 答弁（町長）

本町の情報提供は主に町のホームページ内に「空き家情報」などのコーナーを設け、種々の支援制度の紹介をしている。

また「たみ」、「鳥取移住定住サポートセンター」とリンクする他、県主催の移住・定住の説明会でPRしている。

合併10年、人口は約3%の減で地域差も出ている。過疎化の進む所には特段の措置も必要と考える。

教育施設状況、町の行事や魅力など加えた移住・定住促進リーフレット作成も考えたい。

来年度は移住・定住に一層力を入れ、予算編成でも対応したい。

※増井議員はこのほか「国保税の引き下げについて」質問しました。

Q 地域おこし協力隊の活用を

A 議論して検討したい



米田 強 美

答弁（町長）

①各学校において「特色ある学校づくり事業」で、地域の文化や伝統に触れる機会を設け、伝統芸能などの保存継承活動などに取り組んでいる。

②チャレンジショップ支援奨励金は、商業者の創出や育成だけでなく、商店街の活性化や移住定住に繋がる制度として、そのまま継続したい。

③現在、採用していない。きちんと議論した上で、協力隊を採用するかどうか検討したい。

①文化活動の推進、文化団体をはじめ地域の活動団体や郷土芸能の後継者育成は、どのように取り組んできたか。国の支援事業を活用し、学校などと連携して推進してはどうか。

②チャレンジショップ支援奨励金のこれまでの取り組みは。空き店舗を積極的に情報公開できないか。

③地域おこし協力隊のこれまでの取り組みは。活動内容を限定せず、自由な発想を重視して活用してはどうか。



九品ばやしを継承（東郷中学校）

Q 東郷池の治水対策は

A 県と調整をはかり、決定



治水対策が待たれる「新町川」

答弁（町長）

①具体的な計画を立案するまでに至っていないが、県と調整を図り決定したい。

嵩上げは「門田長江中央線」の1路線が既に着工、今年度に完了予定。

樋門は詳細設計業務を実施中で、管理については今後検討を行う。

②体験者の意見は、貴重な情報であり、今後に反映できるよう適切な時期に調整を図りたい。

③全国で2例あるが、制定に至った経過なども調べてみたい。

③水害対策としての家屋の嵩上げに、補助金は付けられないか。

①内水対策は、県土整備局と調整しながら進められると考えるが、計画内容を問う。町道の嵩上げは、計画に入っているか。側溝及び「新町川」の水門管理はどのように行うか。

②計画の検討に、実際に被害を体験した方の切実な思いと意見を取り入れてはどうか。

### 【観光振興】

- Q 観光地化するのはあまり好きではない。そのままの良さを残しておけばいいのでは。たくさんの史跡もあり歴史的にもいい。
- A 今言われたことを含め、もう一度足元を見ながらやるべき。行政と総括を含めやらせてもらいたい。町全体で地方創生も含め、PR等検証していく。
- Q 良いところをそのまま残していたら、湯梨浜は潰れてしまうと思う。
- A 精査をかけ検討していきたい。
- Q スキャナー搭載3Dプリンタで土産品を作ってはどうか。
- A 研究していきたい。
- Q 今滝は途中で風穴があり、昔話もある。そのような言い伝えなどを目玉に盛り込んで、土地柄を知ってもらえればPRになる。
- A 川（滝）床料理も含めて、観光ルートの中で提案して取り組んでいけたらと思う。
- Q 池に船を何艘か置いて、お客さんと呼ぶのもいいのでは。トライアスロンではなく、新たな競技をしてはどうか。
- A 検討していく。



羽合会場での様子

### 【水明荘】

- Q 第1号の国民宿舎にこだわらず、先々のことを真剣に考え、最悪の場合は転売の方向を検討するようなことを考えられたら。立て直す気があれば皆で取り組んでほしい。
- A 今の意見を含め、改善に向けて取り組みたい。現在、経営診断を進めている。
- Q 赤字ならやめればいい。民間を圧迫している。
- A 東郷のランドマーク的存在であったもの。中小企業診断士にとにかく診断してもらい、民間に売却か、指定管理か、どの選択肢をとるのかはこれからの協議。

### 【県道拡幅工事】

- Q 舎人地区で道路拡幅工事が中断しているところがある。
- A 一部の買収が止まっている。その部分の話がつけば問題なく拡幅も進むように認識している。

### 【耕作放棄地】

- Q 農地等、荒廃しつつあるので管理状況の改善。
- A 農業委員会等とも情報共有に努めている。議会としても、随時所管委員会で、担い手の仕組みづくりが検討されている。

### 【防災訓練】

- Q 部落の防災訓練は。各部落の防災担当者を集め研修会を開いたりなどやってはどうか。
- A 行政側だけではなく、自治公民館が主体的に動かないと機能しない。担当者を集めての研修等は当たり前。町に申し出て議会も一緒に考えていきたい。

### 【オンデマンドバス】

- Q 湯梨浜町社会福祉協議会で「ふれあいバス」という事業をされている。議会としてオンデマンドバスを作られようということなのか。
- A 社協の利用状況をどう向上させるか、不便さがあるのかを検証をかけてみるのもひとつの方法。
- Q 合併時、コミュニティバスによって泊から東郷、羽合へと人の動き、物の動きになってしまった。社協のバスにしても同じ。泊地域の商店が衰退する。
- A 行政サービスとして取り組めば財政も伴う。社協とも協議したい。

### 【給食センター】

- Q 給食センターも外注になってしまうのか。絶対に民間委託してほしくない。
- A 議会として、どうするのかというところは審議していない。新中学校敷地内に併設される。

※たくさんの意見ありがとうございました。

※議会ホームページにも会議録等を掲載しています。

(<http://www.yurihama.jp/page.cgi?p=11962>)



# 「住民と議会の意見交換会」を開催しました。

議会の説明責任を果たすとともに、市民の声を聴き、これからの活動に生かすため「住民と議会の意見交換会」を11月5日から3日間、各地域の中央公民館・分館を会場に開催しました。

議会・市政に対して多数のご意見・提言を伺いました。すぐに回答できない問題などは、今後、それぞれの委員会で協議して対応方針を検討、議

会広報に掲載していきます。

意見・提言と、それに対する会場での回答、委員会で決定した対応方針等（一部）は次のとおりです。

※各委員会で協議・検討状況は動画サイトに逐次掲載していきます。

## ◆ 会場でのQ & A ◆

### 【議員の調査権】

- Q 職員の給料と比較して議員の給料が半分という状態で、対等に調査ができたり意見が言えたりするのは不可能。
- A 議会として、調査能力を高める方向で実践している。

### 【議員定数】

- Q 12名で機能するのか。議員の数を減らせばいいのかということをもう一度考えてほしい。人数が少ないと獲得総数の関係で、若い人が諦めてやめてしまうのでは。
- A 12名でどうかと言われると若い人も出てきにくく、ネックになっている。委員会で検討したい。

### 【議員報酬】

- Q 1～2万円あげたくらいで果して若い人が出てくるのか。
- A このたびの提案では、合併当初の報酬に戻すという相談。中部町村会の報酬審議会で検討される。その答申を参考に、判断する。
- Q 議会の開催日に合わせて報酬を考えられたらいいのでは。
- A 定例会・臨時会は14回。各委員会は99回（予算・決算特別委員会除く）（H25.7～H26.6）

### 【タブレット端末導入】

- Q OSの基本ソフトがかわれば、何年かに1回更新をしていく必要がある。ペーパーレスになって費用削減にはならないし、情報が拡散する。
- A もっと研究し、みんなで話し合っていく余地がある。将来的にはどうか、と考えておかないといけない。

### 【空き家問題】

- Q 湖畔荘の跡地について、個人の住宅ならいいと思ったが、病院の老人ホームみたいな作り。周りに旅館を建てようと思ってもできないのでは。
- A 個人情報であり、鳥取県情報公開条例に基づき、文書等の開示請求で確認してほしい。
- Q 行政処分するときに審議会が設置されていない。近隣に迷惑をかけるという状態が続けば、その人に命令を下すことができる。今からでも遅くないので次回に一部条例改正で出してほしい。
- A 審議会のあり方は大事なことで改めて感じた。空き家条例が有効に進められるよう、我々も取り組んでいきたい。

# 町民インタビュー

## 「ウォーキングで地域ブランディング」

遠藤 公章 さん（浜山）



私が所属する「NPO法人未来」が開催する「SUN-IN未来ウォーク」も今年で15回を迎えることとなりました。これまで県外、国外から参加される多くの方々から東郷湖周のコースに高い評価を頂いております。温泉、景観はもとより、地元自治



体、商工会等多くの団体、住民の取り組みも評価され全日本ノルディックウォーク連盟公認コース第1号となったこともその証です。

今後2015年秋アジアトレイルズカンファレンス（日本・韓国・中国参加のトレッキング、ウォーキングの大会）、2016年ワールドトレイルズカンファレンス（18カ国）が中部において開催されます。開催期間中、県内外はもとより、国外からも多くの方々が東郷湖周をウォーキングされることと思います。地域を世界に発信する絶好のチャンスです。官民を上げて成功させ、地域活性化に繋がっていききたいと思います。

### 議会の傍聴をお気軽に

☎ 35-5341

FAX 35-3697

メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

### 編集後記

平成27年がスタートしました。

今年こそは成果を  
と願い、継続は力な  
りと信じ、ドジョウ  
との付き合いも早6  
年が経ちました。

もう我が子のように  
感じられ、愛おしい  
限りです。

昨年末、地方創生  
関連法が成立し、石  
破大臣の号令下、い  
よいよ全国各市町村  
の知恵くらべが始ま  
ります。

当町では、課を越  
えたチーム連携で取  
り組まれるようです。  
新しい発想と勇氣  
ある決断、持続性と  
効果的な政策を期待  
したいところです。

（記 上野）

広報常任委員会

編集委員一同